

ゲイ男性のミソジニー？

——ゲイ男性向けポルノグラフィにおける女性表象——

日本学術振興会（東京大学） 森山至貴

1 問題設定

クィア・スタディーズという研究領域を切り拓いたローレティスは、ジェンダーとセクシュアリティの問題を切り分けた上でその密接な関係性を分析していくべきだと主張した(Lauretis 1991=1996)。その主張は性差別と同性愛差別の密接な関連を探るセジウィックの作業へと結実した。セジウィックはミソジニーを内包する異性愛男性同士の関係性をホモソーシャルリティ概念によって剔出し、それがホモセクシュアリティと似ているが異なるものであると指摘した(Sedgwick 1985=2001)。

この知見をゲイ男性がどう女性をまなざすかという観点から読み替えると以下ようになる。すなわち、ゲイ男性にとって女性とは、性に関する同一の権力構造の中でともに差別されるものであり、かつ男性として性差別をおこなう対象でもありうる（ホモソーシャルリティがホモセクシュアリティと似てしまうとはそのようなことでもある）。したがって、性に関する同一の権力構造を問い直そうとすれば、ゲイ男性のミソジニーを批判的に検討する必要がある。他方、ゲイ男性と異性愛男性をその性別の共通性からまとめて「断罪」するのもその固有性を看過する点で軽率だろう。

そこで本報告では、ゲイ男性のミソジニーがどのような機制のもとに発現しており、それが異性愛男性のミソジニーとどのように重なりまた異なるのかを明らかにする。

2 分析の対象

とはいえ、ゲイ男性と異性愛男性のミソジニーを截然と分けることは容易ではない。そこで本報告では、ゲイ男性と異性愛男性が「男らしさ」という共通項を演出されつつももっとも差異化される、ゲイ男性向けポルノグラフィ (DVD) を取り上げ、その映像における女性表象を検討する。

ゲイ男性向けポルノグラフィに金銭的利益を目的として異性愛男性が出演することは少なくない(ESCOFFIER 2003)。そして、出演者の（同性愛／異性愛という）「性的指向」は明示され、それ自体が鑑賞者の性的欲求に奉仕することを期待される。したがって、ゲイ男性向けポルノグラフィにおける女性表象の検討は、ゲイ男性のミソジニーの固有性を比較によって明らかにすることに資する。

3 結果

本報告の分析対象においては、ミソジニーをその「男らしさ」の現れとする解釈枠組に乗る形で女性を表象する異性愛男性出演の作品と、その欲望の形が女性の欲望になぞらえられることによってミソジニーが表現されてしまうゲイ男性出演の作品の間の差異が見出された。ただし、いくつかの作品の中にはより複雑な女性表象がなされているものもあった。当日の報告においては、実際の表象の細部に分け入りゲイ男性にとってのミソジニーの様相を検討していく。

文献

ESCOFFIER, 2003, "Gay-for-Pay: Straight Men and the Making of Gay Pornography", *Qualitative Sociology*, 26(4), 531-55.

Lauretis, Teresa de, 1991, "Queer Theory : Lesbian and Gay Sexualities ; An Introduction," *Differences*, 3(2). (=1996 大脇美智子訳「クィア・セオリー——レズビアン/ゲイ・セクシュアリティ イントロダクション」『ユリイカ』28(13), 66-77.)

Sedgwick, Eve Kosofsky, 1985, *Between Men: English Literature and Male Homosocial Desire*, New York: Columbia University Press. (=2001 上原早苗・亀沢美由紀訳『男同士の絆——イギリス文学とホモソーシャルな欲望』名古屋大学出版会.)